

今月の
Questions

特集

自信がもてるようになる!

Q5

「SGLT2 阻害薬」の
投与開始時に注意
することは?

>>> 280

エビデンスに基づく

糖尿病診療

新薬からトピックスまで

たかが血糖、されど血糖。

血糖コントロールは何のためにするの?

血糖コントロールをしないと何が起きる?

その答えは、患者さんごとに異なるはずです。

これほど多種類の薬があるのに、それでもやっぱり

血糖コントロールが難しい患者さんもいらっしゃいます。

専門医でなくても、かなりのところまで糖尿病診療はできるようになりました。

しかしその内容は、新薬にとどまらず、

日々新たな治療法や考え方へと刷新されています。

また、古典的とも言えそうな基本的な治療や薬物にも

新しい知見が多くあります。

そこで、糖尿病治療の“新スタンダード”から、基本の“おさらい”、

知っておきたい“トピックス”まで、全部を本特集に集約しました。

ぜひこの1冊で糖尿病診療に自信をもってください、

適切なタイミングで専門医にコンサルトしていただけたら幸いです。

Q12

「糖尿病性腎臓病」の
進行を抑制するための
ポイントは?

>>> 301

Q17

糖尿病患者に対して
「有酸素運動」をどの
ように勧める?

>>> 314

Q22

「スティグマ化」の
プロセスとは?

>>> 329

企画 | 大西由希子

Q1

2型糖尿病で「薬物療法」を行う際に留意すべきことは？

〉〉 262

Q2

糖尿病患者における「包括的管理」とは？

〉〉 268

Q3

eGFR30～60mL/分/1.73m²のメトホルミン内服中の患者が「ヨード造影剤」を使用する検査（造影CT検査など）を受ける際に注意することは？

〉〉 274

Q4

「GLP-1受容体作動薬」の使い分けのコツは？

〉〉 276

Q6

「SU薬」や「グリニド薬」のよい適応と、使い分けの際に留意すべきことは？

〉〉 282

Q7

血糖コントロール目的で注射療法を導入する時の「注射剤選択」で留意することは？

〉〉 285

Q8

2型糖尿病の「病態」はどのようなものか？

〉〉 288

Q9

「糖尿病性腎症」の早期発見・診断に有用な検査は？

〉〉 293

大全

Q10

「血糖自己測定」や「持続グルコース測定」の処方時に留意することは？

〉〉 296

Q11

「糖尿病網膜症」の進行予防のために最も大切なことは？

〉〉 298

Q13

「糖尿病性多発神経障害」を早期発見するためのポイントは？

〉〉 304

Q14

2型糖尿病患者に合併する「動脈硬化性疾患」をスクリーニングするために有用な検査は？

〉〉 307

Q15

糖尿病患者の「足」を診察する時に留意することは？

〉〉 310

Q16

どのような2型糖尿病患者に「低糖質食」を推奨するか？

〉〉 312

Q18

「小児・思春期」「妊娠希望者」「妊婦」「高齢者・超高齢者」の糖尿病診療で留意することは？

〉〉 316

Q19

「複数の併存疾患」をもつ糖尿病患者で意識することは？

〉〉 320

Q20

SGLT2阻害薬を内服している「1型糖尿病」の患者が、嘔気と倦怠感を主訴に来院した。疑うべき病態は？

〉〉 324

Q21

「耐糖能異常」で受診した患者に行うべき検査は？

〉〉 326

Q23

「新型コロナウイルス感染症」に罹患した糖尿病患者で特に気をつけることは？

〉〉 332

Q24

「災害」を念頭に医療者と糖尿病患者が備えておくべきことは？

〉〉 334

Q16

「認知症」を伴った糖尿病患者の治療で注意すべきことは？

〉〉 335

